

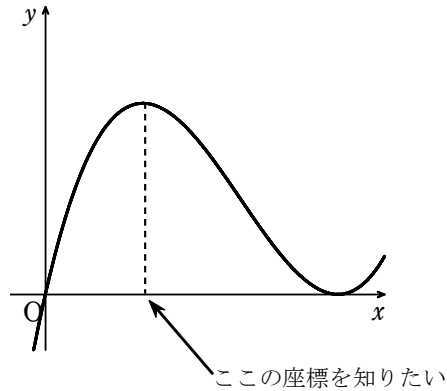
数学Ⅱ 微分法②

4 導関数

グラフをかいたとき、「右上がりから右下がりになる場所」を見つける

グラフが滑らかであれば、局所的に直線（1次関数）で近似できるはず

この直線が水平になるところを見つければ…



微分係数 $f'(a) = \lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{\Delta y}{\Delta x} = \lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{f(a + \Delta x) - f(a)}{\Delta x}$ は a の値によって変わる、つまり、 a の関数であるから、微分係数 $f'(a) = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(a + h) - f(a)}{h}$ の a を x に置き換えて、導関数

$$f'(x) = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(x + h) - f(x)}{h} \quad \dots \textcircled{1}$$

をつくる。 $f'(x) = 0$ になる x を求めると、最大、最小になるところが見つかる。

【練習問題】 関数 $f(x) = x^3 - 3x$ ($x \geq 0$) の最小値を求めよ。

(解) 導関数 $f'(x)$ を求めると、

$$\begin{aligned} f'(x) &= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(x + h) - f(x)}{h} \\ &= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{\{(x + h)^3 - 3(x + h)\} - (x^3 - 3x)}{h} \end{aligned}$$

5 導関数の公式

それぞれの関数に対して毎回①を計算するのは面倒である。そこで、 x^n の導関数の公式をつくる。 $f(x) = x^n$ とし、二項定理

$$(x + h)^n =$$

を利用して、

$$f'(x) =$$

【練習問題】 $f(x) = x^3$ の導関数を定義にしたがって求め、上の公式と合うことを確かめよ。